

三鷹市長 清原 慶子様

2010/01/27

「市民による外環道路問題連絡会・三鷹」

代表委員 豊田 詠史

代表委員 朝子

連絡先 TEL 090-4725-5159 / FAX 03-3422-9778



三鷹市長を含む沿線 6 市区長による「東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）に関する国・都への要望書（09 年 10 月 23 日）記 3 について、当会の要望書（09 年 11 月 10 日付）に対する、市長の回答（09 年 12 月 2 日）についての意見書

前略

2009 年 12 月 2 日、多忙の中ご回答頂きありがとうございます。回答の内容につきまして、理解に努めるべく何度も読みかえさせていただきましたが市民と市政をつなぐ何か大きな視点、共有すべき重要な点が欠けていると感じました。以下の意見を述べさせていただきます。2 月 14 日までに書面にて、お返事をいただきたいと思います。

第 1. 質問にお答えいただいておりません

・・・当会が質問したのは、

これまでの市長意見書における「国、東京都に対して慎重な姿勢を求める」市長の姿勢と、6 市区長連名要望書での「早期完成に向けて着実な事業実施に努めること」とは正反対ではないか。

ということです。この点にお答え頂いておりません。ご回答をお願いします。

第 2. 市民の総意を無視した手続き

回答では「様々な取り組みや手続きを経た上で事業化が確定した」とありますが。

・・・国や東京都の、手続きや取りくみは長年にわたり、多くの問題点が指摘されています。PI 外環沿線協議会もそうですが、第 4 回国幹会議において急遽事業化を決定した経緯についても、不透明であり、公正な視点に欠け、すべてがつくらんがための手続きで市民の意見を反映したものではありませんでした。「対応の方針」についても同じことが言えます。

第 3. 市民感覚とはかけはなれています。

回答では「理由の説明が不明確なまま事業の進捗を遅らせるることは地域住民の混乱を招きこれまでの真摯な取りくみに影響をもたらすものと考えられます。」とあります。

・・・外環道路計画は、あらゆる予算が逼迫するなか、巨額の事業費を投入し、三鷹を含む沿線 7 市区の住民の生活環境に重大な影響を及ぼします。そのような計画の早期完成を要請する姿勢は、市民感覚とは程遠いものがあります。

自治体の首長として国の財政事情と市民が市政に取り組んでいただきたい喫緊の課題が何であるかが共有されていないと感じています。

・・・沿線 7 市区で外環道路計画のために必要とし、国、東京都へ要望している付属道路の、新設、拡幅、延長、整備路線は 30 以上になるでしょう。この財政下でこれらの整備が全て担保される根拠は何処にもありません。

回答では「地域住民の混乱を招き」とあります。

・・・計画線上の土地利用を考えている住民や影響を受ける圧倒的多数の周辺住民を考えるとき、予算の見通しが立たっていない現況で事業の進捗を促す事が方が地域住民の将来の生活設計を立てる上で混乱を招きます。ハツ場ダムの二の舞になりかねないと考えます。

第4. 地権者の苦しみを解消する最善の道は、事業の中止と用途制限の撤廃

回答では「事業化が確定したにもかかわらず、事業区域内の土地利用の制限は従前のまま、土地利用の転換を図りたいと考えている地権者等にとって、不明確な情況が続いている」とあります。

- ・・・地権者の方々のために自治体の首長は、長期未整備路線である外かく環状道路を、不要不急の道路として国、東京都に見直しや廃止をもとめ、建築制限、用途制限の撤廃を実現することが本来の務めだと考えます。
- ・・・時間管理がなされなかった責任は国にありますが、道路行政を根本的に見直すことが本当の意味で地権者の意向に沿ったことになり、同時に広く市民のためになると信じています。

第5. 「対応の方針」そのものが大問題で、「具現化」など不可能。

・・・2009 年 12 月の「事業の概要及び測量等の実施に関する説明会（法的な位置づけのない）」で、国は施行上の重要な箇所について「今後の技術開発の動向や施工方法の検討を踏まえ詳細な検討を行い具体的に検討していきます」と 4 回も、繰り返しました。大気汚染、騒音、土壤汚染、地下水汚染、地盤沈下、隆起、水害、災害、交通量など、懸念される全てにおいて、極めて不確定要素の多い事業であることを認めています。市民にとっては『やってみなければわからない』と、判断せざるを得ません。市民の不安、懸念に対して納得の行くデータや過去の情報は公開されないまま、着工だけが急がれています。

・・・この巨大なプロジェクトの中心が三鷹であり、中央ジャンクション（掘削、開削ボックス 19 箇）、インターチェンジ（掘削、開削ボックス）、2 基の巨大な換気塔、立坑 4 など集中しており、搬出される土砂 700 万 m³、更に外環ノ 2 の地上部の問題など課題は多岐にわたり工事中も供用後も住民への影響は深刻です。

三鷹市長は現段階において、国及び東京都の対応を十分誠意を示したものとして評価していますが、市民は「実証に基づく計画の妥当性についての検証、議論」のないままでは、三鷹市長の姿勢を受容ることはできません。

以上